

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 平成30年6月27日(水)【13:20～14:40】
於：機構9F特別会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員(慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授)
原木 詩人 委員(弁護士)
和田 義博 委員(公認会計士)
太田 克芳 委員(当機構監事)
大橋 裕子 委員(当機構監事)

【議事内容】

審議事項

- (1) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】(平成29年4月～30年3月)
- (2) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】(平成29年4月～30年3月)
- (3) 平成29年度調達等合理化計画に係る取り組み状況
平成30年度調達等合理化計画(案)

【主な意見等】

- (1) 「新たな競争性のない随意契約」について、次の意見があった。
 - 雑誌への広告掲載案件について、今後広告の効果の観点から他の媒体への掲載について、検討されたらどうか
- (2) 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について、次の意見があった。
 - 「システムの改修業務」について、継続的な基幹システムの改修業務であるため、結果的に開発業者等による一者応札・応募となったことは止むを得ないが、将来、他者も競争に参加しやすい汎用性のあるシステムへ抜本的に刷新する等、中長期的な改善案というものも検討されたらよいのではないか。(複数の委員から)
 - 2ヶ年連続して一者応札・応募となっている案件について、予定価格の算定に当たっては、業者の見積書、CIO 補佐官の見積を加味する等考慮されているが、落札率が高い調達に係る予定価格の価額設定については、更なる工夫が必要である。
- (3) 「平成29年度取り組み状況」及び「平成30年度調達等合理化計画(案)」について
 - 入札公告情報を提供する仕組みを新たに構築する計画については、期待したい。

【委員の意見等に対する対応】

- (2) について
 - 将来、新たなシステム関係を構築する際は、ご意見を踏まえた対応を講じていく。
 - 予定価格の算定方法について、より適切に対応できるよう検討してまいりたい。